

車両

2012年3月末現在、東北・上越・長野新幹線用電車1,247両をはじめ、あわせて13,157両の車両を保有しています。

その車種、形式は多岐にわたり、40カ所の運転区所などにそれぞれ配置しています。

2011年度、新幹線では東北新幹線高速化のため、E5系を新造し、E4系の転属を行い、老朽化した200系の廃車を行いました。在来線特急ではE657系を新造し、常磐線に投入して老朽化した車両の交換を行いました。首都圏では、通勤形電車・近郊形電車のE233系を新造し、常磐緩行線、京葉線、東海道線に投入し、老朽化した車両の交換を行いました。また、山手線はホームドア使用開始に伴い、6扉車をすべて4扉車に交換を行いました。

車両数

(2012年3月31日現在)

車種		両数
電車	新幹線	1,247
	在来線	10,784
	小計	12,031
気動車		518
電気機関車		56
ディーゼル機関車		50
蒸気機関車		3
客車		147
貨車		352
合計		13,157

注：E995形試験電車1両、209系試験電車6両を除きます。

車両新造事業の展開

当社では、新津車両製作所における18年間の車両製造を通じ、通勤車両の製造技術を向上させてきました。また、株式会社総合車両製作所をJR東日本グループに加え、新津車両製作所との相乗効果を発揮させることで、車両製造事業をJR東

日本グループの「経営の第4の柱」として確立し、鉄道技術をリードする企業グループとしての一段の飛躍に挑戦いたします。

新津車両製作所の概要

新津車両製作所は、1994年10月に操業を開始し、現在、1日1両、年間約250両のペースで車両を製造しており、2011年度末までの累計製造両数は3,798両となりました。

製造する車両は自社向け通勤・近郊用車両を主体としており、設計から製造・落成まで、最新のCAD/CAMシステム、NC工作機械、自動溶接ロボットなど極力機械化・自動化を導入し、効率的な一貫生産体制としています。現在、「夢・挑戦・飛躍」をスローガンに、通勤車両の設計・製造のトップランナーをめざして、E233系電車のさらなる品質向上やコストダウン、次世代通勤電車の設計・製造などに挑戦しています。

(株)総合車両製作所の概要

「株式会社 総合車両製作所」(略称:J-TREC)は、2012年4月2日にJR東日本グループの一員に加わりました。J-TRECの車両製造事業は、神奈川県横浜市の「横浜事業所」で行っています。株式会社東急横浜製作所として1948年8月に設立後、東急車輛製造株式会社への商号変更を経て、2011年度末までの累計製造両数は16,622両となりました。

JR東日本向け通勤・近郊用車両はもちろん、特急形車両や公民鉄向け車両、新幹線車両などさまざまな車両を製造してきています。日本におけるステンレス車両の製造技術をリードしてきたとともに、アルミ車両の製造にも取り組んでいます。

概要

社員数 約330名
敷地面積 約150,000㎡
建物面積 約49,500㎡
ISO9001 1998年3月取得
ISO14001 1999年2月取得

車種別車両製造実績

(2012年3月31日現在)

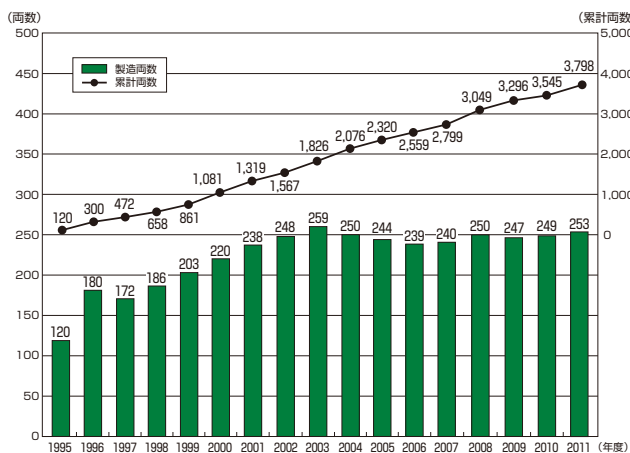
209系	595両
E217系	266両
E231系	1,538両
E531系	176両
E233系	1,223両
合計	3,798両

注：社外向け車両71両を含みます。

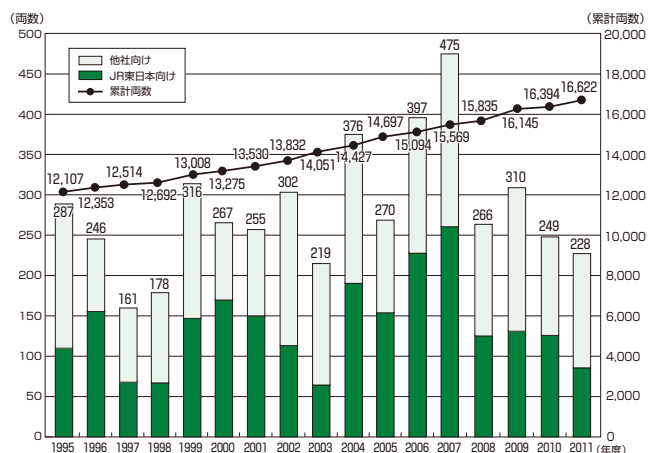
近年の主な車両製造実績

JR東日本向け		新車納入先公民鉄	
E233系	E3系	東京急行電鉄	京成電鉄
E721系	キハE130系	京浜急行電鉄	東京都交通局
E259系	キハE200形	小田急電鉄	南海電気鉄道
E655系	HB-E300系	京王電鉄	相模鉄道
E657系			

車両製造両数の推移



近年の車両製造両数の推移



主な新型車両の導入線区

JR発足後に導入された新型車両（新幹線・特急車両）

(2012年3月31日現在)

	形式	列車名	主な運転線区と区間	両数
特急 (電 車)	251系	スーパービュー踊り子	東海道本線(東京・池袋・新宿～伊豆急下田)	40
	E259系	成田エクスプレス	総武本線・成田線(大船・横浜・大宮・高尾・池袋・新宿～成田空港)	132
	651系	スーパーひたち	常磐線(上野～いわき・原ノ町・仙台)	99
		フレッシュひたち	常磐線(上野～土浦・勝田・高萩・いわき)	
	E653系	フレッシュひたち		72
	255系	ビューさざなみ	内房線(東京～君津・館山)	45
		ビューわかしお	外房線(東京～上総ノ宮・安房鴨川)	
	E257系	あすさ	中央本線(千葉・東京・新宿～松本・南小谷)	154
		かいじ	中央本線(東京・新宿～甲府・竜王)	
		さざなみ	内房線(東京～君津・館山)	
		わかしお	外房線(東京～上総ノ宮・安房鴨川)	
		しおさい	総武本線(東京～成東・銚子)	
		あやめ	総武本線・成田線(東京～成田・佐原)	
E351系	スーパーあすさ	中央本線(新宿～松本)	60	
E657系	スーパーひたち・フレッシュひたち	常磐線(上野～いわき)	70	
E655系	和(なごみ)		5	
(客 車) 特急	E26系	カシオペア	東北本線(上野～札幌)	12
新 幹 線	E1系	Maxとき、Maxたにかわ	上越新幹線(東京～越後湯沢・新潟)	72
	E2系	はやて、あさま ほか	東北・長野新幹線(東京～新青森・長野)	502
	E3系	こまち、つばさ	秋田・山形新幹線(東京～秋田・新庄)	261
	E4系	Maxやまびこ、なすの	東北新幹線(東京～那須塩原・仙台)	208
		Maxとき、Maxたにかわ	上越新幹線(東京～越後湯沢・新潟)	
E5系	はやぶさ、はやて ほか	東北新幹線(東京～仙台・新青森)	110	

JR発足後に導入された新型車両（首都圏）

(2012年3月31日現在)

	形式	主な運転線区と区間	車両の特徴	両数
首 都 圏	E231系	山手線(大崎～大崎)	拡幅車	572
	E233系	京浜東北線、根岸線(大宮～大船)	拡幅車	830
	215系	東海道線(東京～小田原)ほか	2階建てグリーン車、拡幅車	40
	E217系	横須賀・総武快速線(久里浜～千葉)	2階建てグリーン車、 拡幅車	745
		成田線(千葉～成田空港) 東海道線(東京～熱海)ほか		
	E233系	東海道線(東京～熱海)ほか	2階建てグリーン車、拡幅車	225
	209系	南武線(川崎～立川)		24
	E231系	中央・総武緩行線(三鷹～千葉)	6扉車、拡幅車	460
	209系	中央・総武緩行線(三鷹～千葉)	拡幅車	130
	E231系	中央・総武緩行線(三鷹～津田沼) 地下鉄東西線(中野～西船橋)	地下鉄東西線乗り 入れ用	70
	E231系 ※	宇都宮線、高崎線、湘南新宿ライン、東海道 線(小田原・逗子・上野～黒磯・前橋)ほか	2階建てグリーン車、 拡幅車	1,255
		209系		
	209系	常磐緩行線(綾瀬～取手)	地下鉄千代田線 乗り入れ用	20
	E233系	地下鉄千代田線(綾瀬～代々木上原)		180
	E231系	常磐快速線(上野～取手) 成田線(我孫子～成田)	拡幅車	265
	E233系	中央快速線(東京～高尾)ほか 青梅線(立川～奥多摩) 五日市線(拝島～武蔵五日市)	拡幅車	688
		E233系		
	E501系	常磐線(土浦～いわき) 水戸線(小山～友部)	交直流	60
	E531系	常磐線(上野～水戸・高萩)	交直流、拡幅車	310

※訓練車5両を含む

JR 発足後に導入された新型電車、新型気動車（地方ローカル線）

●新型電車投入状況

(2012年3月31日現在)

主な運転線区と区間	形式	両数
東北本線	一ノ関～盛岡	44
	黒磯～一ノ関	
常磐線	いわき～仙台	82
仙山線	仙台～作並	701系
奥羽本線	米沢～青森	
羽越本線	鶴岡～秋田	
津軽線	青森～蟹田	
田沢湖線	盛岡～大曲	
奥羽本線	福島～新庄	24
東北本線	黒磯～石越	719系
仙山線	仙台～山形	
羽越本線	新発田～村上	E127系
白新線	新潟～新発田	
信越本線	長岡～新潟	
越後線	吉田～新潟	
大糸線	松本～南小谷	
東北本線	黒磯～一ノ関	719系
仙山線	仙台～山形	
常磐線	原ノ町～仙台	
	E721系	88

●新型気動車投入状況

(2012年3月31日現在)

主な運転線区と区間	形式	両数
大湊線	野辺地～大湊	5
釜石・山田線	花巻～宮古	キハ100系
大船渡線	一ノ関～盛岡	
北上線	北上～横手	
左沢線	山形～左沢	キハ100系(ロング)
釜石・山田・岩泉線	花巻～宮古・岩泉	キハ110系
花輪線	盛岡～大館	
磐越東線	いわき～郡山	
小海線	小淵沢～小諸	
水郡線	水戸～郡山	
八高線	高麗川～高崎	
磐越西線	会津若松～新潟	
羽越本線	新津～酒田	
飯山線	長野～長岡	
陸羽東線	小牛田～新庄	
陸羽西線	新庄～酒田	
気仙沼線	小牛田～気仙沼	
水郡線	水戸～郡山	
小海線	小淵沢～小諸	
米坂線	米沢～坂町	
大湊線等	新青森～大湊	キハE130系
五能線等	秋田～青森	キハE200形
大糸線等	長野～南小谷	キハE120系
	HB-E300系	4
		4
		2

代表車両の主要諸元

(2012年3月31日現在)

愛称 Maxやまびこ、なすの、Maxとき、Maxたにかが



形式 E4系
投入 1997年12月
最高速度 240km/h
両数 208両

- 特徴 オール2階建て構造により座席数を最大限確保し、着席サービスを向上。2本を連結した16両編成では、高速列車として世界最大の定員数1,634人。
- サービス設備 フルリクライニングシート、車内情報表示装置、FM・TV音声車内輻射、車いす対応腰掛け、車いす対応トイレ、多目的室、売店、女性専用トイレ、車いす昇降装置

愛称 Maxとき、Maxたにかが



形式 E1系
投入 1994年7月
最高速度 240km/h
両数 72両

- 特徴 オール2階建て構造を採用して、座席数を最大限確保。座席数は、従来の200系12両編成に比べ約40%増。
- サービス設備 フルリクライニングシート、車内情報表示装置、FM・TV音声車内輻射、車いす対応腰掛け、車いす対応トイレ、多目的室、女性専用トイレ、車いす昇降装置、売店

愛称 あすさ、かいじ、わかしお、さざなみ、しおさい、あやめ



形式 E257系
投入 2001年12月
最高速度 130km/h
両数 249両

- 特徴 アルミ車体。大きな窓、明るい車内で快適性を追求。空調装置を床下に搭載して車内騒音低減や低重心化をはかり、通年最適な全自動空調制御を実施。列車情報管理装置(TIMIS)の導入で主な装置との機能性向上。
- サービス設備 フルリクライニングシート、車内情報表示装置、自動放送装置(和・英文)、車いす対応腰掛け、車いす対応トイレ、多目的室、ドア開閉音声装置



形式 E233系
投入 2006年12月
最高速度 120km/h
両数 2,163両

- 特徴 E231系の技術を踏襲し、主要機器を二重系化し信頼性を向上。女性専用車や優先席部分の荷棚、吊り手高さの低減、優先席エリアの明確化等のユニバーサルデザインの採用、空気清浄機の設置、液晶画面やフルカラーLEDによる情報案内の充実など、アンケートやインタビューに基づくお客さまニーズを反映したデザイン。
- サービス設備 ラジオ放送車内輻射、車内情報表示装置、車いすスペース、車いす対応トイレ(近郊タイプ)



形式 E721系
投入 2007年2月
最高速度 120km/h
両数 88両

- 特徴 低床化により客室床面を地方線区の低いホームにあわせ、ステップのない出入口としリアフリー化を実現。幅広車体を採用し車内はセミクロスシートで、仙台空港アクセス用車両には荷物スペースを設置。
- サービス設備 駅名表示器、車いすスペース、車いす対応トイレ

愛称 はやて、やまびこ、あさま、なすの



形式 E2系
投入 1997年3月
最高速度 275km/h
両数 502両

- 特徴 軽量、低騒音の高速走行用車両として開発。最高速度275km/hで運転し到達時間を短縮。
- サービス設備 フルリクライニングシート、車内情報表示装置、FM・TV音声車内輻射、車いす対応腰掛け、車いす対応トイレ、多目的室、女性専用トイレ、荷物スペース

愛称 はやぶさ、はやて、やまびこ、なすの



形式 E5系
投入 2011年3月
最高速度 320km/h
両数 100両
(量産先行車 10両は除く)

- 特徴 国内最高速となる320km/hでの営業運転性能を有する車両として開発。可動枕つきフルリクライニングシート、フルカラー車内情報表示装置、FM・TV音声車内輻射、改良型ハンドル形車いす対応トイレ、多目的室、女性専用トイレ・洗面所、防犯カメラ

愛称 成田エクスプレス



形式 E259系
投入 2009年10月
最高速度 130km/h
両数 132両

- 特徴 1991年にデビューした「253系」で築いてきた空港特急の代名詞「NEX」のブランドイメージをベースに、ユニバーサルデザインを採用し、快適性、セキュリティをブラッシュアップ。エクステリアデザインは、赤・白・黒をベースカラーとした253系のブランドを継承。インテリアデザインは、日本の伝統紋様である市松紋様をデザインキーワードとしている。
- サービス設備 可動枕つきフルリクライニングシート、座席コンセント、車いす対応腰掛け、車いす対応トイレ、多目的室、AED、4カ国語(日英中韓)対応大型液晶案内装置、ダイヤルロック式の錠を備えた荷物置場、防犯カメラ、車内インターネット



形式 E531系
投入 2005年7月
最高速度 130km/h
両数 310両

- 特徴 E231系の交直流版の近郊形電車。通勤・近郊タイプでは初の130km/h運転を実施。客室床面とホームの段差縮小をはかるなどさらなるバリアフリー化を実現。ラジオ放送車内輻射、車内情報表示装置、車いすスペース、車いす対応トイレ



形式 キハE200形
投入 2007年7月
最高速度 100km/h
両数 3両

- 特徴 発電用ディーゼルエンジンで発電した電気と蓄電池に充電した電気を効果的に利用して走行する。世界初の営業運転を行うハイブリッド車両。燃料消費量のほか、窒素酸化物と粒子状物質の排出量を低減するとともに、駅停車時はアイドリングストップによりエンジン騒音を抑制。
- サービス設備 駅名表示器、車いすスペース、車いす対応トイレ

愛称 こまち、つばさ、やまびこ、なすの



形式 E3系
投入 1997年3月
最高速度 275km/h
両数 261両

- 特徴 新幹線区間と在来線区間を直通運転できる高速車両。新幹線区間では最高速度275km/hで運転し到達時間を短縮。
- サービス設備 フルリクライニングシート、車内情報表示装置、車いす対応腰掛け、車いす対応トイレ、多目的室、FM・TV音声車内輻射

愛称 カシオペア



形式 E26系
投入 1999年7月
最高速度 110km/h
両数 12両

- 特徴 新しい旅の提案として個室、食堂車、ラウンジ等の設備を整え「快適空間を実現した寝台列車」。オール2階建て車両、オール2人用個室、全室にトイレ、洗面台設置。
- サービス設備 TV(ビデオ・BS放送)、文字ニュース放送、BGM放送、トイレ、洗面台、車いす対応個室、共用シャワールーム、ミニロビー、自動販売機、食堂車、ラウンジ(インターフォン、クローク、シャワールームは一部車両に設置)

愛称 スーパーひたち、フレッシュひたち



形式 E657系
投入 2012年3月
最高速度 130km/h
両数 70両

- 特徴 E259系の基本構造や新しい技術、サービスを取り入れ、快適な車内環境、ビジネスユースへの対応、安心してご利用いただける車内設備をコンセプトとした特急形交流電車。エクステリアおよびインテリアデザインには借景園の梅など沿線にちなんだ配色、柄を採用。
- サービス設備 可動枕つきフルリクライニングシート、座席コンセント、車いす対応腰掛け、車いす対応トイレ、多目的室、AED、フルカラー大型LED車内案内表示器、防犯カメラ、車内インターネット



形式 E231系
投入 2000年3月
最高速度 120km/h
両数 2,622両

- 特徴 通勤・近郊タイプの基本仕様を統一し、幅広車体による混雑緩和をはかり、列車情報管理装置(TIMIS)の導入により配線的大幅削減、全自動制御による空調の最適化、出点区検の自動化等のメンテナンスフリー化を実現。
- サービス設備 ラジオ放送車内輻射、車内情報表示装置、車いすスペース、車いす対応トイレ(近郊タイプ)



形式 HB-E300系
投入 2010年10月
最高速度 100km/h
両数 10両

- 特徴 ディーゼルハイブリッドシステムを搭載したリゾート列車。主に津軽・大湊線を走行する盛岡編成。五能線を走行する秋田編成、信越地区を走行する長野編成があり、それぞれ走行地域の特徴を表す外観デザイン。環境に優しく、観光地沿線走行に相応しい車内設備。
- サービス設備 フルリクライニングシート、半個室(秋田編成)、展望室・イベントスペース、駅名表示器、液晶案内表示器、前面眺望カメラ、イベント用カメラ、車いす対応腰掛け、車いす対応トイレ、洗面台